

第3学年A組 国語科学習指導案

日時 平成21年11月13日(金)

授業者 教諭 西村 勝美

- 1 単元名 古典を楽しむ
教材名 「論語」～悩めるあなたに贈る言葉～

2 単元の目標

- 「論語」で語られている言葉についてグループで話し合ったり，文章にまとめたりできる。 [関心・意欲・態度]
- 「論語」の言葉を読み，孔子の人間の生き方についての観察や思索をとらえ，自分のものの見方や考え方を深める。 [読むこと]
- 漢文の基本的な決まりを理解し，漢文特有の文体に読み慣れる。 [言語についての知識・理解・技能]

3 学習の基盤（生徒観は省略）

○本単元は，3年間の古典学習の総仕上げとして「古典を楽しむ」と題している。古典の内容をただ読んだり知ったりするだけではなく，そこから現在の自分たちの生き方を刺激し，豊かにすることを目標としている。中でも「論語」は人の生きる道を考えるきっかけになるような言葉の宝庫である。学ぶ楽しみを感じ，古典の名文が生徒達のこれからの人生に寄り添うきっかけとなるような単元としたい。

「論語」は古代中国の古典「四書」の一つで，孔子を中心とする言行録である。ほとんどが断片的と言ってもよいような短い言葉の集まりだが，日本人のものの考え方に大きな影響を与えてきた書である。中学3年というこの時期，生徒は，自我が確立していく不安定な状態の中で，自分の将来の生き方について真剣に考え始める。この時期に「論語」に出会っておくことは，迷える生徒たちにとって生きる上での道しるべの一つとなることであろう。3年間の古典学習の締めくくりとして，単に漢文独特の文体に読み慣れるということに終わらず，現代にも通ずる人間としての生き方・ものの考え方として読み深めさせたい。教科書に提示してある章句は四つだが，今回は発展的学習として扱い，さらに多くの「論語」の言葉の中から生徒たちが心に残ったものを選択する形で学習させていきたい。

○孔子の言葉を教師が一方的に説明するのではなく，他の人に「贈る言葉」として生徒たち自身が紹介するという学習形態を進める。個別に好きな言葉を選んで紹介することもできるが，シェアできる時間は限られているので，グループで一つの言葉を紹介する形にした。言葉を選択する段階，内容の説明を考える段階，キャッチフレーズを考えて掲示するポスターや配布するプリントを書く段階と，それぞれの場面での話し合いを通して，より自分たちの生活に引き寄せた読み方ができるであろう。

まず本教材の導入として，「論語」の最初に出てくる「学びて時に……」を取り上げ，2年次に学習した訓読の基本の復習をしたい。また，今後の学習の見本となるように，訓読文を書写したものを掲示し，キャッチフレーズの例示をしておきたい。その後はグループに分かれて，論語の中から気に入った言葉を選択して，発表する形で学習を進めていく。

「悩めるあなたに贈る言葉」として5つのテーマ（「学ぶこと」「人との関わり」「よりよい生き方」「自分自身の在り方」「将来の進路」）を設け，グループでそれぞれのテーマにふさわしい「論語」の言葉を選ぶ。その後，自分たちが選んだ言葉に，わかりやすくキャッチフレーズをつけ，訓読文を効果的に書写したポスターを作成させる。そのポスターを

掲示しながら，内容について自分たちなりの言葉でわかりやすくプレゼンテーションできるように，グループで話し合わせたい。各グループの発表を聞くことで，孔子の考え方を自分自身の人生と絡ませてさらに深く理解できるような学習としたい。

単元終了後は授業の最初の5分間ドリルとして，好きな章句について暗唱する学習につなげていきたい。

4 教材の指導計画及び評価計画（全6時間）

時間	学 習 活 動	国語への関心・意欲・態度	読むこと	言語についての知識・理解・技能
1	・「学びて時にこれを習ふ」より，漢文の既習事項の復習と「論語」の概要や孔子の人物像についての学習をする。	・孔子や「論語」について知っていることを積極的に述べている。	・「学びて時にこれを習ふ」の内容を理解することができる。	・漢文の基本的なきまりを理解し，書き下し文や訓点を付した文を読むことができる。
1	・「悩めるあなたへ贈る言葉」として，ポスターを使った紹介の見本を見る。 ・各班にテーマを割り当て，テーマごとにまずは各自で言葉を選ぶ。	・「論語」の様々な言葉を読み，自分で気に入った言葉を選ぶことができる。		
3	・班で意見を持ち寄り，紹介したい言葉を一つに絞り，調べ学習をする。 ・プレゼンテーションの内容や掲示するポスター，配布するプリントについて話し合い，準備をする。	・「論語」の言葉について自分の考えをもち，グループで話し合ったり，文章にまとめようとしたりしている。	・孔子の生き方に対する鋭い観察や深い思索にふれ，現代の生活に通じるものを実感としてとらえている。	・調べた内容に基づいて，語句の意味を的確にとらえている。
1 本時	・各班で選んだ語句についてプレゼンテーションを行う。 ・心に響いた言葉を選んで考えたことを書く。	・班で話し合った内容を意欲的に発表することができる。	・発表を聞き，孔子の考えを自分たちの生活と照らし合わせ，読み深めることができる。	

5 本時の学習

○目標 ・班で話し合った内容を、意欲的に発表することができる。

[関心・意欲・態度]

・発表を聞き、孔子の考えを自分たちの生活と照らし合わせ、読み深めることができる。
[読むこと]

○展開

学 習 活 動	教 師 の 支 援	評 価
○5分間ドリル…暗唱	・これまでの古典学習で暗唱した言葉をくり返し声に出すことで定着を図る。	
○本時の課題を確認する。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「悩めるあなたに贈る言葉」をテーマとした各班の発表を聞き、自分の好きな言葉を選んで感想を書こう。</p> </div>		
<ul style="list-style-type: none"> ・各グループで発表の手順を確認する。 ①「〇〇で悩むあなたへ」 ②キャッチフレーズ ③訓読 ④内容の紹介 ・それぞれの発表の評価の仕方について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず班員全員が発表に関わり、声を出す機会があるように指導する。 ・班の発表の様子や孔子の言葉がどれだけ心に響いたかといった内容で観点を設定し、相互評価する。 ・班の発表を聞いた感想を数名ずつ発表させる。 ・書きにくい生徒については個別に支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・声の調子や聞き手を意識して、わかりやすく工夫して発表している。 [観察・ワークシート] ・孔子の考えを自分たちの生活と照らし合わせ、読み深めることができる。[ワークシート]
○班の発表をする。		
○班の発表を聞いて、最も心に響いた言葉について考えたことを書く。		
○今週の自己評価をする。		

○本時の具体的な評価規準

目 標	十分満足できる	おおむね満足できる	努力を要する
・班で話し合った内容を意欲的に発表することができる。	声の調子を工夫したり、聞き手の心に残るような印象的な表現を用いて発表している。	はっきりとよく聞き取れる声で発表している。	声が小さく、聞き手に内容が十分伝わらない。
・発表を聞き、孔子の考えを自分たちの生活と照らし合わせ、読み深めることができる。	生活の中から具体的な事例を挙げ、孔子の言葉と照らし合わせて自分なりの考えを述べている。	孔子の言葉の意味を理解し、感想を述べている。	孔子の言葉の理解が不十分である。